

# 平成 28 年度 事業計画書

自・平成 28 年 4 月 1 日～至・平成 29 年 3 月 31 日

はじめに

平成 25 年度から始まった「夢へのかけ橋プロジェクト」や水稲自然栽培検証プロジェクトなど、フォーラムや塾に小倉昌男賞受賞者の協力を得て、障がい者の働く場を幅広く応援していくしくみが広がってきています。今年度は、水稲自然栽培先行実証プロジェクトに参加した施設のほかに幅広く施設が参加できるよう、任意団体「自然栽培パーティ」の立ち上げを支援します。また、フォーラムの実施、実践塾の追加募集、塾の成果発表を行うセミナーの開催も行い、前年に引き続きより多くの人たちが行動を起すよう推進していきます。

また、奨学金など重度障害者に対する助成活動も引き続き行って、幅広く社会参加の可能性が得られるよう活動します。

(公1) 助成事業 ( 92, 000 千円)

(1) 奨学金 (24, 000 千円)

(2) 助成金 (65, 000 千円)

障がい者福祉に関する助成 (講演会・研修・文化・スポーツ等)  
(5, 000 千円)

給料増額支援助成金 (障がい者の給料増額につながる設備・備品購入)  
(60, 000 千円)

(3) 諸経費 (調査費・贈呈式他費用) (3, 000 千円)

(公2) 研修・育成事業 ( 56, 600 千円)

(1) セミナー事業

(21, 500 千円)

「夢へのかけ橋プロジェクト」として実践塾と連動したフォーラムを盛岡、東京、大阪、福岡の 4 箇所で開催します。開催にあたり基調報告・小倉昌男賞受賞者による講演に加えて小倉昌男賞受賞者による塾の実施報告、助成金事業の成果報告やビデオ・シンポジウムで構成して実施します。

(2) 雇用促進事業 ( 7, 100 千円)

メール便りニューアルへの対応やヤマト自立センターの活動支援により障がい者就労の拡大を図ります。

(3) 育成プロジェクト ( 28, 000 千円)

「夢へのかけ橋プロジェクト」として、より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある指導者を集め、小倉昌男賞受賞者による実践塾を開講します。現在開講している4つの塾のうち1塾が期間を終了しますので再度公募するほかに追加募集も行います。また、前年に引き続き、先行的・先駆的な取り組みを支援しモデル化するための資金を塾参加施設の申請に応じて提供します。また水稲自然栽培の検証を終了し、休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する団体の立ち上げと活動を支援します。

会場費	(3,000千円)
講師費用	(1,500千円)
事業改革モデル化資金	(5,000千円)
管理会計システム運用・改善費	(3,000千円)
諸経費(交通費等)	(5,500千円)
「自然栽培パーティー」プロジェクト	(8,000千円)
水稲自然栽培ビデオ制作費	(2,000千円)

(公3) 表彰事業 (9,000千円)

- (1) 小倉昌男賞の贈呈 (9,000千円)  
 障がい者就労施設や一般企業等にあつて、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団 小倉昌男賞」を贈呈します。

(公4) 広報・啓発等事業 (40,100千円)

- (1) 広報事業 (37,400千円)  
 財団ニュースを年4回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、インターネット等を通じて広く一般に啓発広報を行ないます。
- (2) 啓発事業 (700千円)  
 障がい者本人によるクロネコメール便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。
- (3) その他事業(予備費) (2,000千円)

以上